

育てる楽しさ、味わう喜び

兵庫みらいの

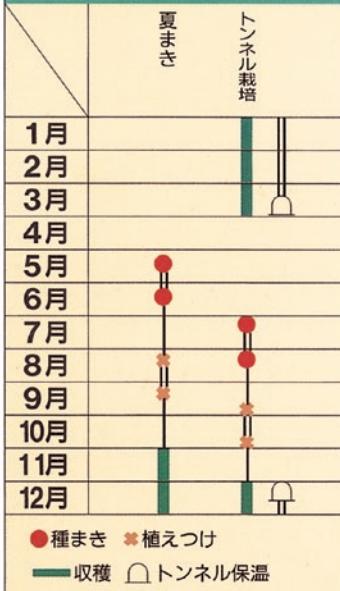
野菜づくり

Basic Vegetables



セロリ

葉菜類・セリ科



営農指導員からの失敗しないコツ

- 涼しい気候を好み乾燥を嫌います。
- 肥沃なところを選んでください。
- 心葉が黒くなってしまるのは、生長の盛んな葉にカルシウムが十分に送られないときに起こる障害です。あらかじめセルカを十分に施してください。

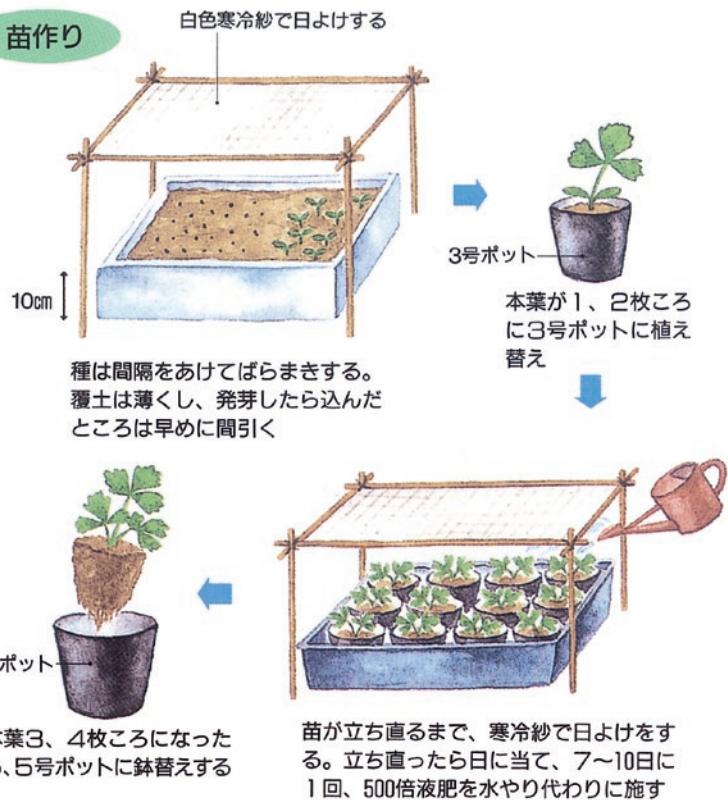
VARIETY

セロリは、東洋の在来種や地中海沿岸のスープセロリなど、原種に近いものもありますが、一般的には黄色種と緑色種に分けられます。

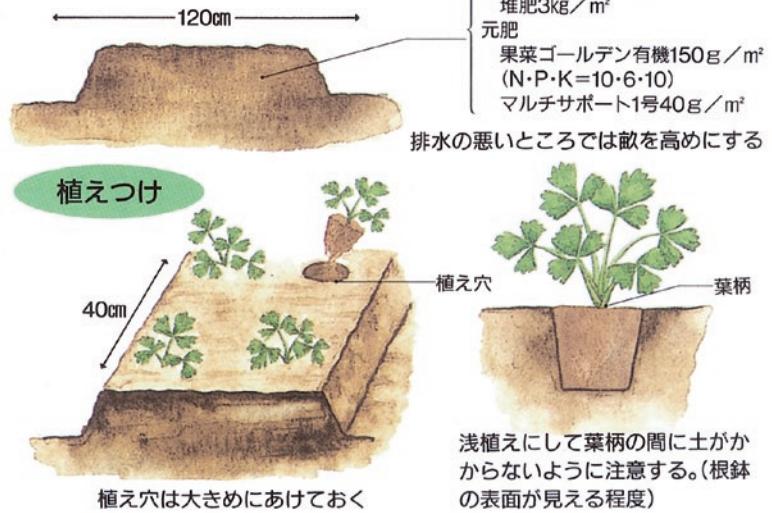
黄色種では、コーネル619が日

本での主流になっていますが、1950年代以降から、ビタミンAが豊富な緑色種が作りやすいことから栽培が広がり、トップセラーなどが利用されるようになっています。

苗作り



畝づくり



浅植えにして葉柄の間に土がかからないように注意する。(根鉢の表面が見える程度)

◆PROFILE

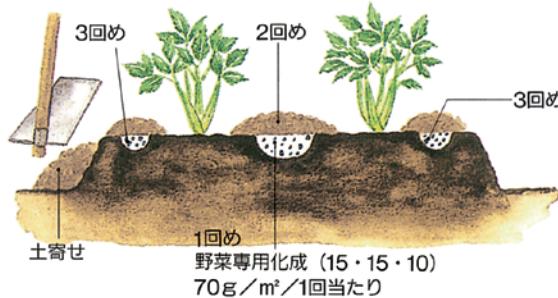
原産地は地中海沿岸。セリ科の2年生で、明治以降にアメリカから黄色種が導入されて栽培されるようになりました。

15~20°Cが生育適温で、25°C以上の高温になると生育が鈍ります。

ます。10~12°Cの低温が半月ほど続くと花芽ができ、その後、高温で日が長くなると、とう立ちして開花します。種子の発芽適温は20°C前後で、高温になると発芽しにくくなります。

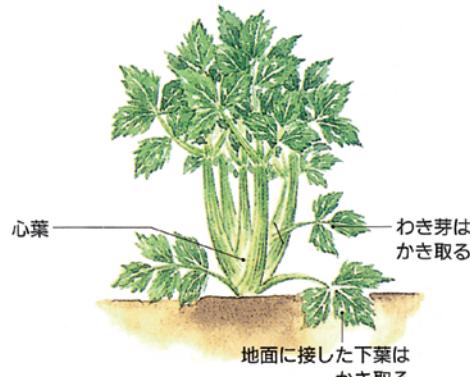
日当たりが悪いと、葉色が暗くなり、株の張りが悪くなります。乾燥には弱いので、生育中にはじゅうぶんに水分を与えます。ほかの葉菜類より肥料を欲しがるので、多肥栽培します。

追肥・土寄せ



植えつけ半月後に1回め、その半月後に2回め、その半月後に3回めの追肥をする。セロリは多肥を要求するが、追肥は少量ずつ回数多く与える。
追肥のあと、中耕、株元へ土寄せをする。葉柄のつけ根に土が入らないように注意する。

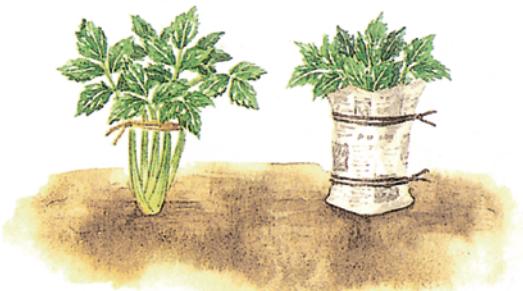
下葉かき・わき芽かき



心葉が立ってきたら、下葉かきをする。一度にせず、2~3回に分ける。本葉15枚ころからわき芽が出てくるので、わき芽もかき取る

収穫

霜が降りるころになるとすがに入る
ので注意する。新聞紙を巻いて軟
白してもよい



栽培三二知識

この原理からすると、セロリは生育初期はじゅうぶん光を当て葉を横に広げてやり、収穫期が近づいたら、強い光をさえぎつてやると、心葉がスムーズに立ち上がり、姿がよくなります。昔は軟白のために新聞紙で株を巻きつけたのですが、これは心葉を上に生長させる効果もありました。

セロリは光に敏感

セロリは、ある程度生長して葉数が増えてくると、心葉が立つてきます。心葉が立つてくると、丈が伸びはじめます。ここで実験してみましょう。いま、セロリに当てる光の強さを変えてみます。光が強いと葉は上に伸びずに横に広がります。こんどは日よけをして光を弱めてやると、葉が立つてきます。草丈はもともと、光の強さと重力によつて、葉が上に伸びるか横に広がるかが決まるといわれますが、セロリでは重力よりも光に影響されるようです。セロリの心葉が立ち上がるのも、外葉によって内葉に当たる光が弱められるためにおきると考えられています。



農業に関するご相談・お問い合わせは、
JA兵庫みらい 営農窓口まで。

TEL.0790-47-1282

8:45～17:15(土・日・祝日を除く)

加西営農生活センター TEL.0790-47-1286

グリーンかさい TEL.0790-47-1286

三木営農生活センター TEL.0794-87-3012

グリーンみき TEL.0794-83-5638

小野営農生活センター TEL.0794-63-6905

グリーンおの TEL.0794-63-7775